

Co-Creative Adventure

2024 年度 WELgee 活動報告書



来年度も WELgee を よろしく お願いいたします！

本報告書の内容に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

特定非営利活動法人 WELgee (ウェルジー) 英語表記: Nonprofit Corporation WELgee

有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-311372 / 有料職業紹介事業許可年月日 2019年11月1日 (2022年11月1日更新済)

所在地 東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー27階 デジサーチアンドアドバイザーズ内「COEBI」

メール info@welgee.jp

SNS @welgee X @WELgee_Japan @welgee_japan note.com/welgee

表記について

【難民】命の危険があつて現在祖国に戻れない状態にある人、総称。認定難民・難民認定申請者・後発的難民（帰国困難な状態にある元留学生等）・避難民なども含んでいます。

【インターナショナルズ】WELgeeとともに活動をする難民の方々のことです。

【団体名】文章中の団体の表記については、法人表記を原則正式名称にて掲載いたします。

【写真】難民の方のプライバシー保護のために、一部画像を編集しています。

Rotary
東京愛宕ロータリークラブ



上記写真は、愛宕ロータリー × シアトルグローバル
グラント協働イベントにて撮影されたものです。イ
ベントの詳細レポートは本誌のp.12をご覧ください。

WELgee



(2024 年末時点)

—— 自らの境遇にかかわらず、ともに未来を築ける社会。

2024 年末時点で、
紛争や迫害により故郷を追われた人の数は1億 2,320 万人。
過去 10 年、避難を強いられる人の数は増え続けています。

ここ、日本にも約 10 万人の難民が暮らしています。
その一人ひとりに、名前があり、物語があり、
未来への可能性があります。
WELgee は、彼らが日本社会の一員として力を発揮し、
自分らしい人生を築けるよう、人生再建に伴走しています。

文化や背景の違いを超えて出会い、
ともに働き、ともに未来を描く。
多様なルーツが交差する社会は、
きっと今よりもっとカラフルで、たくましい。

難民との共創が日本社会のスタンダードになる未来に向けて、
一步一步できることを。



Index 目次

- ① いつも応援して下さる皆さまへ ― 代表理事からのご挨拶 p.4
- ② 数字で見る 2024 年の WELgee p.5
- ③ WELgee のプログラムの流れ p.7
- ④ インターナショナルズのライフストーリー p.8
- ⑤ 難民人材採用に取り組む企業の目線 p.10
- ⑥ 育成事業の取り組み p.11
- ⑦ 逆境を生き抜いた力を企業へ ― キャリアコーディネータークロストーク .. p.13
- ⑧ 難民人材の活躍事例 p.15
- ⑨ 難民の日に、本気で考える「ビジネスと人権」 p.17
- ⑩ 企業との多様な共創事例 p.20
- ⑪ 個性派揃い! WELgee メンバー紹介 p.21
- ⑫ 新代表ってどんな人? p.23
- ⑬ 卒業メンバーからのメッセージ p.24
- ⑭ 会計報告 / 寄付 p.25

いつも応援して下さる皆さまへ

日頃よりWELgeeの活動を応援していただき、誠にありがとうございます。

このたび、私はWELgeeの新たな代表として、その舵を預かることとなりました。「自らの境遇にかかわらず、ともに未来を築ける社会」というビジョンを引き継ぎつつ、未来を見据えて必要な挑戦を進めてまいります。

世界を見渡してみると、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナをめぐる紛争など、世界各地で今なお不安定な状況が続いています。UNHCRによると、2024年5月時点で移動を強いられている人は1億2320万人を超え、日本の人口に匹敵します。日本でも、ウクライナや、アフガニスタン・シリアの情勢を背景に難民政策の変化が進んだこともあり、国内にいる難民の数も増加傾向にあります。

また、こうした混乱した情勢下において、日本を含む先進諸国においても、共生・統合における課題が顕在化しており、難民あるいは外国人という存在をめぐって、いたずらに分断を煽るような言葉やデマに基づく排他的な主張が聞かれることも少なくありません。

WELgeeはこれまで、日本に難民として逃れてきた人たちが自分らしく日本の企業と価値を共創するプロセスに伴走してきました。私たちが大切にしている「WITHの精神」は、「難民とともに」というだけではな

く、「日本社会におけるさまざまなアクターとともに」ということを意味しています。多様な背景をもつ人と、ともに生きることを避けられないこれからの世界において、両者にとって「ともに生きる」事例を社会の中に増やしていくことがますます大切になっていると感じています。

本年度の活動報告書は「共感」と「信頼」をテーマに掲げました。皆さまからの「共感」と「信頼」があったからこそ実現できた事例を振り返りながら改めて皆様に感謝をお伝えするとともに、新たな体制のもとでも皆さまとしなやかにかつ力強く歩み続ける決意を表明したいと思います。

これからも挑戦を続けてまいります。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



WELgee 代表理事

安齋耀太

活動報告書制作チーム



PR ディレクター
まりりん

この度は活動報告書を手にとっていただきありがとうございます。いつも応援いただいているみなさまに改めて心から感謝いたします。今年も内容盛りだくさんです!この報告書がなにかの「種」になりますように!



PR メンバー
だいち

日頃より応援して下さる皆さまへの感謝の気持ちを込めて、本報告書を作成いたしました。今回のイチ押しポイントは、インターナショナルズのリアルな声です。ぜひご覧いただき、私たちの活動を身近に感じていただければ幸いです。



デザイナー
ちょいちょい

WELgeeの活動は、WITHの精神によって支えられています。日頃より応援して下さる皆さまと「ともにある」ことを伝えたく、本報告書でもできる限り親しみやすいデザインを心がけました。第二章のWELgeeもよろしくお願いいたします:)

WELgee について

Vision
私たちの実現したい社会

自らの境遇に関わらず、
ともに未来を築ける社会

Mission
私たちの役割

志を発掘し、つながりを広げ、
未来をデザインできる仕掛けをつくる

What We Do
WELgeeの取り組み

WELgee は育成事業、就労伴走事業、共創事業に取り組んでいます。育成事業では、キャリア教育プログラムとメンターシップ、スキル開発を通じて、一人ひとりの特性や目標、ニーズに合わせた機会を提供します。就労伴走事業では、「育成・採用・定着」の三つの一貫した伴走を実施する事で、引き出された人材の強みを活かし、企業とのマッチングを行います。共創事業では、難民人材と多様なアクターでより多くの社会課題解決が実現できる事業の創出を支援していきます。

数字でみる2024年のWELgee

2022年に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、今なお人々の暮らしに深刻な影響を及ぼしています。アフガニスタンやアフリカなど世界各地で、依然として長引く紛争や政情不安によって安全を求める人の流れは続いています。世界各地で起こる戦争や暴力は、日常を一瞬にして奪い去り、人々を「難民」へと追い込んでいるのです。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の報告によれば、現在、紛争や迫害によって故郷を離れざるを得なかった人々は1億2320万人を超え、史上最多を更新しています。私たちが暮らす世界全体にとっての大きな課題となっています。

世界で紛争や迫害により故郷を追われた人の数

1億2320万人

地球上で67人に1人以上が故郷を追われており、過去10年間、避難を強いられた人の数は前年比で増え続けています。気候変動（干ばつや洪水等）・紛争・ジェンダー・食糧危機など、難民が生じる背景や社会情勢は多様化・複雑化しています。

数字出典：UNHCR. Global Trends report 2024. <https://www.unhcr.org/global-trends-report-2024>

政情不安の続く国出身の在日外国人

10万人以上

世界各地で戦争・内戦が続いています。紛争や迫害の影響が大きいアフガニスタン、シリア、ウクライナ、ミャンマーなどの出身者は、日本にも10万人以上います。彼らは新しい土地での生活に希望を見出しながらも、制度や社会との間で大きな壁に直面しています。WELgeeは、このような国際情勢の中で日本にたどり着いた一人ひとりの物語に耳を傾け、ともに未来を切り拓くことを目指しています。世界で広がる「難民危機」は決して遠い出来事ではなく、私たちの日常と深くつながる課題です。

数字出典：法務省発表資料をもとにNPO法人WELgeeにより概算（2024年末時点）

就労伴走事業

難民人材の「強み」を企業に活かす

難民人材採用を検討した企業数

スタートアップから中小企業、大企業まで規模業種等が様々な企業様と、各社での難民人材採用の可能性について議論させていただきました。企業の皆さまに対して難民人材採用の実態や魅力を伝えるオンラインセミナーを5回開催し、延べ99名の皆さまにご参加いただきました。

73社

企業に紹介した難民の数

アフガニスタン、シリア、アフリカ諸国、ミャンマー出身者などを含む35人をご紹介します。4プログラミング言語を操る開発エンジニアや、博士号、MBA所持者から、新卒人材まで幅広い方々です。実際の「出会い」を通じて、彼ら自身の可能性や、自社で採用するうえでのハードルを実感いただく機会となっています。

35人

難民人材採用企業数（お試し雇用含む）

本採用前の「お試し」での雇用をスタートした企業を含めて、本年度は7社とのマッチングが生まれました。本活動報告書では、オイシックス・ラ・大地株式会社を中心に、4社・1プロジェクトでの活躍事例について掲載しております！（→p.10）

7件

育成事業

インターナショナルズの「個性」を発掘する

新たなインターナショナルズとの出会い

様々なアクターとの連携が広がったことで、より多くのインターナショナルズとつながることができました（前年比1.4倍）。その中には、ウクライナやアフガニスタンの人道危機を受けて来日し数年を経て、日本で長く働き暮らしていこうという意欲を高めた方々も多く含まれています。

103人

日本人社会人が伴走するメンターシッププログラム

社会人プロボノが伴走し、自己分析やキャリアの棚卸しなどを行うメンターシッププログラムを、1ターム3か月、年間で4バッチ実施しています。プログラムの改善や社会人プロボノの増加により、前年度比約1.6倍の41人が参加することができました。日本独自の就職活動に不慣れなインターナショナルズにとって、一歩を踏み出す貴重な機会となっています。

41人

日本語研修を実施したインターナショナルズの数

選考を通過した17人のインターナショナルズが、自分のレベルに合わせたオンライン授業を約5か月間・週2時間・全40回受講しました。受講者の9割が全過程を修了し、日本語力が次のレベルに到達するほど上達しました。

17人

キャリアを築くまでのステップ

WELgeeのプログラムの流れ

WELgeeの活動は、インターナショナルズとの出会いから始まります。初回面談で状況を把握したうえで、日本特有の就職文化や選考プロセスを学ぶキャリアトレーニングを実施します。続くメンターシップでは、自己理解やこれまでのキャリアの棚卸し、履歴書・面接準備などに3か月間取り組みます。プログラム終了後は、就労伴走事業「WELgee Talents」を通じて企業紹介へと進みますが、マッチングまでの期間は人それぞれです。私たちWELgeeは、一人ひとりが自分らしさを活かせる職場と出会えるよう、諦めずに伴走しつづけています。

育成事業部	01 初回面談	初回面談では、さまざまな想い・背景を持ったインターナショナルズとお話しします。仕事の探し方がわからない人もいれば、たくさんエントリーしてもなかなかうまくいかないという人もいます。共通しているのは、「自分の経験を活かせる仕事をしたい」という想いがあることです。	
	02 キャリアトレーニング	オンラインセッションを通じて、日本の就職活動の基本を学びます。世界でも特徴的な日本の企業の仕組みや採用慣行を知ること、情報格差を解消します。雇用形態や面接の進め方、企業が重視するパーソナリティなどを理解し、参加者が自分の経験や強みをどう活かすかを考える第一歩となります。	
	03 メンターシッププログラム	メンターシッププログラムでは、社会人プロボノとの1対1のセッションを週1回、3か月間実施します。内容は、自己開示や自己分析、過去の仕事の棚卸し、パーソナリティの言語化、履歴書の添削、面接練習など、日本での就職活動に向けて“自分と向き合う”ための3か月間です。	
就労伴走事業部	04 WELgee Talents	With 難民人材 就職活動を自分でも進められるように、また日本語学習を続けられるように、接点や学びの場を提供し続けています。マッチングには数か月～数年の期間がかかります。	With 企業のみなさま 営業やマーケティングなどを通じて当団体に関心を寄せてくださった企業の皆さまとは、まずカジュアルな面談から始めます。面談では、企業のニーズやポジション、求める人材像をヒアリングし、マッチする難民人材をご提案しています。
	05 就労後サポート	With 難民人材 入社後の悩みにキャリアコーディネーターが寄り添い、安心して働き続けられるよう伴走します。在留資格変更等が必要な場合、顧問行政書士とともに必要な手続きを進めていきます。	With 企業のみなさま 実際のマッチング後にミスマッチを防ぐため、3～6か月のお試し雇用期間を設けています。正社員雇用後も1年間の定着サポート期間を通じて、企業の皆さまの「働きやすい職場づくり」に伴走します。

シリア出身・サ우드さんの歩みと、新しい挑戦

祖国を離れ、日本で未来を築く

戦火を越え、日本で出会えた「安心」と「つながり」



サ우드さんが生まれ育ったのは、シリアの大地でした。農業大学を卒業し、これから家族とともに幸せな暮らしを築いていく…そんな当たり前の未来を夢見ていた矢先、2011年、シリアで内戦が始まりました。

突然、家は崩れ、街は安全な場所ではなくなりました。生きるために、サ우드さんは両親と弟、そして大切な奥さんと一緒にレバノンへ避難するしかありませんでした。

レバノンでは、シリア人が正式に働くことは簡単ではありませんでした。許可を得るには大金が必要で、それが無理なら非公式に働くしかありませんでした。フォトショップを使ったデザイン、弟と始めたレストラン、建設現場…生きるために朝4時から夜9時まで、どんな仕事にも飛び込みました。家族を守るためには、それしか方法がありませんでした。

そして2017年、JICAによるシリア難民向け奨学金プログラムである「シリア平和への架け橋・人材育成プログラム（JISR）」の1期生として、日本で学ぶチャンスをつかみます。2人目のお子さんが生まれたその日、病院から直接空港へ向かい、日本へと旅立ちました。当時、日本語は「こんにちは」すら知らなかったと言います。でも、シリアでは考えられなかった「安全な暮らし」がここにはありました。「日本に來られてラッキーだった。」と、彼が何度もそう口にするのが印象的です。

日本での挑戦と孤独

東京農業大学大学院で農業工学を学びながら、家族を呼び寄せ、子どもたちは日本の学校に通い始めました。しかし、安定した収入を得るのは簡単ではありません。言葉の壁、文化の違い、書類の山…。アパレルショップで働きながら日本語を必死で覚えました。接客フロアに立つために、店長に「チャンスをご覧ください」と直談判もしたそうです。「お客さんから動詞の使い方を教わった」と笑って話すサウードさんの頑張りは、表面からは計り知れません。それでも、どれだけ働いても給料は家族を養うには十分ではなく、国に残る両親への仕送りを続けました。1日1食で我慢する時期もあったそうです。

WELgeeとの出会い、そして一歩先へ

「日本で家族と安心して暮らしたい」——その想いを胸に、サウードさんは何度も転職に挑みました。

最も困難だったのは、家族を支える大黒柱でありながら、若くはない年齢で全く新しいIT分野へとキャリアを転換することでした。書類選考や面接、そして外国籍であることなど、数多くの壁に直面しましたが、「絶対に諦めない人だから、一緒に道を探そう」とWELgeeのスタッフが伴走し、何度も面談を重ねました。その結果、適切なサポートと導きを得て、現在の職場へとつながることができました。

今、叶いつつある「当たり前」の幸せ

サウードさんは今、オイシックス・ラ・大地株式会社でWEB制作の仕事をしています。学んできた農業の知識と、アパレルショップで磨いた日本語力、そして何より人を思いやる気持ちが、仕事に活かしています。優しい彼は、チョコやお菓子を配って「みんなともっと話したい」と笑います。初めて給料が出た時、お世話になっている上司や採用を決めていただいた人事の方に名前入りのボールペンをプレゼンしたそうです。そんな小さな気遣いが、職場に新しい風を運んでいます。

「いつか正社員になって、家族をもっと安心させたい」。その夢も叶いました。今は、1年間の”定住者”の在留資格を取得しました。今後、収入が安定しつづければ、より長く日本で暮らせる可能性もみえてきました。「シリアにいる家族に久しぶりに会いたい」と、彼は目を細めます。

WELgeeは、サウードさんのように、自分と家族の未来をあきらめない人と、社会をつなぐ存在でありたいと思っています。彼の物語を知ってくださったみなさんが、「私にできることは何だろう?」と少しでも感じてくれたなら、これほど心強いことはありません。



サウードさん からのコメント

私は、世界中の難民を支えるすべての人道支援団体の皆さまに、とりわけ、日本で活動する団体の方々に、心から感謝を申し上げます。WELgeeのような団体は、文化や言語という大きな壁を越えて、難民が日本社会に溶け込むために欠かせない存在です。WELgeeと関わる中で、私は「この団体は、難民を受け入れる国にとって弱さではなく、むしろ強みになれる存在だと信じているのだ」と感じました。その使命を果たすために、粘り強く献身を続けてくださっています。その支えがあったからこそ、私は今、安定した仕事を得て、この社会の一員として大切にされていると実感できています。安定した職を得ることは、単なる機会ではなく、希望を取り戻し、不安定な時期を経て人生を立て直す大きな転機となりました。実際、WELgeeは思いやりそのものです。私のような難民に、安心感と未来への自信を与えてくれます。皆さまの努力は、何千人もの人々にとっての道しるべであり、そのことに私は心からの感謝と最大の敬意を捧げます。

難民人材採用に取り組む企業が目線

オイシックス・ラ・大地のみなさんに サウードさんについて聞いてみた！

お答えいただいたお二人



北さん



春名さん

Q. 御社が大切にしている価値観は？

当社は「食の社会課題をビジネスで解決する」ことを掲げていますが、もう一つ大事にしているのが「人の多様性」です。国籍や文化、障がいの有無に関わらず、いろんな人が混ざり合う方が面白いよねと、それが私たちの自然なカルチャーです。

Q. 難民人材採用になぜ興味を持ったのですか？

WELgee主催の「難民人材活躍プラットフォーム」のキックオフイベントに参加したのがきっかけです。その場で「難民の方が正社員を辞める理由は?」と聞いたところ、「自分で事業を起こしたい」「祖国に貢献したい」と返ってきて驚きました。ベンチャーマインドがあるんだと気づき、これなら当社に合うはずだと思いました。

Q. サウードさんと初めて会ったときの印象は？

面接はオンラインでしたが、最初に接続トラブルがあって「すみません、入れなくて…」と焦る姿が印象的でした。重要な初対面の場面で、ITスキルも売りにしているのにオンライン接続に戸惑った、でも逆にそこに人間らしさを感じて、素直でいいなと感じました。その後の話で、自分でECサイトを立ち上げていたり、アパレルショップで接客をしていることを聞き、挑戦と行動が伴っていて、まさに私たちが求める“動ける人材”だと思いました。

Q. 面接から採用のステップはどのように進みましたか？

WELgeeのキャリアコーディネーターのアドバイスから、いきなり正社員ではなく、まずはお試し雇用としてアルバイト契約から始めました。お互いに「実際に働いてみてどうか?」を確認できるのがいいところですね。

Q. 採用後の仕事内容はどのように決まっていきましたか？

はじめはAIプロジェクトに配属しましたが、立ち上がったばかりのプロジェクトということもあり、プロジェクトに必要な事業理解が追いつかず、思った以上に困難が多かったです。WELgeeのコーディネーターに相談して、面談してもらいながら次のステップを考えました。彼にはHTMLやCSS、JavaScriptのスキルがありましたが、WEB制作の方が力を発揮できると判断しました。WEB部門責任者の春名も「私はサウードさんのスキルを伸ばせる」と背中を押してくれ、配置転換を行いました。

Q. チームにはどんな変化がありましたか？

彼は外国籍社員がいないチームに配属されたので、最初はみんな戸惑いもあったと思います。でも「どうしたら働きやすいか」をチームで自然に考えるようになり、彼のおかげで職場の空気が変わったのを感じます。

Q. これから採用を考える企業の方へメッセージをお願いします！

やっぱり最初の一步が一番ハードルが高いです。だからこそ、WELgeeのお試し雇用の仕組みを活用して、まずは会ってみる、話してみるところから始めてほしいです。サウードさんのような人と出会くと、職場に新しい空気が入ります。少しでも「話を聞いてみたい」と思ってもらえたら嬉しいです。

教えてJasmine!

育成事業ってなに？

育成事業部
マネージャー
Jasmine

WELgeeを支える柱のひとつ「育成事業」について、
マネージャーのJasmineに詳しく聞いてみました。

Q. 育成事業のミッションを教えてください！

「人とのつながりを通じて、インターナショナルズが日本社会の理解を深め、自分自身の個性に気づき、選択肢を広げる機会提供」を掲げています。育成事業の業務は、対人のお仕事メインです。インターナショナルズやプロボノの皆さまと、どうしたらインターナショナルズがベストなカタチでキャリアを築いていけるか、一緒に議論しながら事業を進めています。

Q. 具体的にはどんな業務があるの？

出来るだけ多くのインターナショナルズに出会うための接点づくりと、就活について学ぶオンラインプログラム「Career Training Program」、社会人プロボノがインターナショナルズに伴走するメンターシッププログラムの運営をしています。メンターシッププログラム修了後は就労伴走事業にて、WELgee Talentsを通じて企業様にご紹介するフェーズとなりますが、引き続き就職活動が円滑に進むよう日本語学習や、連携している大学院への推薦などもしています。コミュニティを重視しており、インターナショナルズやプロボノなどが集まるギャザリングを3か月に一度開催しています。

Q. インターナショナルズが驚く日本の就職事情・働き方って？

日本では「メンバーシップ型」の採用が一般的で、複数社に一斉応募する文化や抽象的な採用基準（例：チームワークがある人など）に驚かれます。来日直後の人から数年暮らしている人まで、ほとんどのインターナショナルズが日本式の就職活動や労働文化を学ぶ機会がなく、その結果、職場での誤解や離職につながるケースもあります。

Q. どんな時にインターナショナルズの成長を感じる？

過去、日本に来てから、採用選考に落ち続けた経験や、屈辱的な経験をしている方もおり、初回の面談時には、「日本企業が英語を話せない」「就活のプロセスが長い」など、課題を外側に求めがち傾向がある方もいます。しかし、同じ環境で努力するインターナショナルズや、寄り添うメンターの存在に刺激を受け、「自分も頑張ってみよう」と前向きな行動に変化していく姿を見ると、大きな成長を感じます。その変化は、WELgeeでの出会いをきっかけに、彼ら自身の内側にあった力がひきだされた結果だと感じます。

Q. 育成事業のやりがいについて教えてください！

WELgeeの育成事業プログラムには正解がなく、常にトライ&エラーを重ねながら改良を続けています。インターナショナルズの背景が変われば、求められるプログラムの形も変わるため、「どんな姿で卒業してほしいか」をチーム全員で考えながら進化させています。まだまだ改善の余地はありますが、フルタイムもプロボノも関係なく意見を出し合い、より良いプログラムをともに作る過程に大きなやりがいがあります。また、プロボノが一人ひとりに向き合い、その背景となる社会課題に向きあうプロセスで、その課題を自分ごととして考え行動する「関係人口」が増えていくことにつながっています。「どんな人も輝けるプログラム」を形にすることが、社会にとって大きな変化につながると感じています。

愛宕ロータリー × シアトルグローバルGrant協働イベント

今年度、東京愛宕ロータリークラブならびにシアトルロータリークラブからのグローバル補助金のご支援いただき、活動を行いました。まず、ロータリークラブの複数の会員の皆さまにメンターシッププログラムにメンターとして参加いただきました。その機会を通じて、難民人材の可能性や力を実感いただきました。その後、難民人材の可能性をいっそう多くの企業の力につなげることを目的に、2回にわたりイベントを開催しました。第一回目は、実際に日本企業に就職した難民の方々を招き、彼らの半生についてや、難民採用について、ロータリー所属企業の皆さまに知っていただくイベントを開催しました。このイベントでは、ウクライナ出身で現在国際NGOで調査・アドボカシーに取り組む女性や、コンゴ民主共和国出身のエンジニアなど、就職に成功しているインターナショナルズにこれまでのライフストーリーや現在の仕事について話してもらうことで、実際に彼らと語り、それぞれの企業での難民人材採用の可能性を探る機会となりました。



続く第二回目では、ロータリー所属企業を中心に約15社・総勢50名が参加し、難民人材と企業が直接つながるマッチングイベントを実施しました。パネルディスカッションでは、すでに難民人材を採用した企業経営者が登壇し、採用に至った経緯や入社後の学びを率直に語ってくださいました。学歴や資格に加えて「行動力」「向上心」「人柄」が採用の決め手となったことや、入社後にはチームに新しい刺激をもたらす、事業展開の可能性を広げていることも紹介され、参加者にとって非常に学びの多い時間となりました。また、インターナショナルズ自身がキャリアや挑戦の経験を語る場面もあり、企業側も熱心に耳を傾ける中で、言語や文化の違いによる課題も共有されました。こうした直接の対話を通じては、採用や職場の枠にとどまらず、社会全体に多様性と活力をもたらす可能性を模索することができました。

二度のイベントを通して改めて浮かび上がったのは、難民人材を「助けるべき存在」としてではなく、「ともに未来を築く仲間」として迎える視点の重要性です。多様な経験や語学力、逆境を乗り越えてきた強い意志は、日本が直面する人口減少や労働力不足、社会の多様性促進といった課題に大きな可能性をもたらします。愛宕ロータリークラブとシアトルロータリークラブの皆さまのご支援により実現したこの取り組みを経て、WELgeeは今後も難民人材と企業、そして社会をつなぎ、多様な人材が力を発揮し、ともに豊かな未来を創り出す活動を継続してまいります。



Indeed Japan Job Squad プログラム (2024年3月実施)



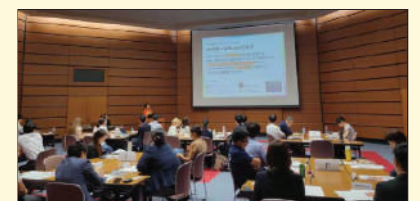
求人サイトを展開するIndeedのご協力のもと、インターナショナルズとIndeed社員が一堂に会し、キャリアについて語り合うプログラムを実施しました。参加者は約20人。求人サイト「Indeed」をより効果的に活用する方法を学びながら、どのように自己のキャリアを構築していくか、また日本の就職活動における課題をどう乗り越えていくかをともに考えました。一企業の社員と難民背景のある若者が対等な立場で意見を交わし、お互いの理解を深める貴重な場となりました。

MBA 奨学金プログラム



WELgeeを卒業したインターナショナルズを中心に、日本におけるキャリアの可能性を広げるためのMBA（経営学修士）進学の支援をしています。信頼できるパートナー大学の紹介と、奨学金や在留資格に関する支援を通じて、さらなる日本でのキャリア形成を後押ししています。2024年度にははじめて、1人のインターナショナルズがこのプログラムを活用し、特定活動（3ヶ月・就労不可）から「留学」の在留資格への切り替えに成功。現在、大学院大学至善館にて、経営学を学びながら、将来のビジネスキャリアの基盤を築いています。

東海エリア協働キャリア 支援プログラム



名古屋を中心とした東海エリアの避難民支援団体と連携し、ウクライナ避難民やその他の難民背景の方々に対するキャリア形成のための取り組みを展開しました。現地での対面キャリアセッションや個別面談に加え、企業向けの講演も実施。関東以外に広がるインターナショナルズのニーズを把握し、就労への第一歩をともに模索しました。今後も東海エリアでの継続的な活動を予定しており、地域ごとの課題と向き合いながら、より包括的なサポート体制を構築していきます。

逆境を生き抜いた力を企業へ

就労伴走事業部で、企業とインターナショナルズを繋ぐ役割を担っているキャリアコーディネーターの4人に、普段の仕事を通して意識していることを聞いてみました。それを通して見えてきたのは、「難民人材採用」という言葉のハードルを下げたいという彼らの思い。日本ではまだ前例の少ない取り組みを、どのように形にしてきたのかを伺います。



Q. 企業の皆さんは、どのように最初の一步を踏み出すのでしょうか？

Yuko: 難民人材採用に興味を持っていても、「自社でもできるのだろうか」「どんな方がいるのだろうか」と、最初は不安を抱かれる企業のご担当者様が多くいらっしゃいます。WELgeeでは、そうしたハードルをできるだけ低くし、まずは一步を踏み出していただけるように工夫をしています。

最初のステップはとてもシンプルです。企業には簡単なアンケートにご記入いただき、私たちとの初回面談を通じて関心度やイメージを一緒に確認していきます。採用に対して明確なビジョンがなくても大丈夫です。むしろ、『まだ具体的には分からない』という段階の方が自然かもしれません。大切なのは、まず、難民人材について知っていただくこと。その過程で「この人たちと働いてみたい」という思いが生まれるケースがたくさんあります。

Chili: 初回の面談では、企業の目指しているところや戦略、カルチャーなどを聞いたり、感じたりするようにしています。その上で、人材リソースをどう考えているか、どういった生態系を作りたいのか、どういったチーム構成なのか、そのために必要なスキルやキャラクターなどは、といった形でブレイクダウンをしていくようにしています。

Maru: 外国人採用の経験が少ない企業に対しては、「外国人だから」という条件に偏りすぎないように、採用ポジションあるいは企業としてどういう人材像を求めるかを確認しています。候補者のスキルや日本語などの条件はもちろん重要ですが、企業側のカルチャーやインターナショナルズの人柄など、言語化がなかなかしにくい情報も、マッチングの際、そして実際に採用・定着につながるかに大きく関わってきます。

Q. 初回面談のあと、採用に向けてどのように進んでいくのですか？

Yuko: 面談の中で採用したい人物像がはっきりしていれば、私たちから合いそうなインターナショナルズを紹介します。まだイメージが固まっていない場合には、候補者と実際に会話する機会をつくることもあります。直接話すことで、これまでになかった可能性や発想が企業の中に芽生えていくからです。インターナショナルズに共通しているのは「逆境を生き抜く力」。困難を乗り越えながら日本にたどり着いた彼女らは、前向きにチャンスをつかもうとする強い意志を持っています。その存在は、企業にとって単なる労働力の補充ではなく、新しい視点とエネルギーをもたらし、組織の多様性を豊かにしていきます。

Q. 採用から定着、活躍までの流れを教えてください。

Yuko: 採用プロセスも柔軟です。面接はオンライン・対面を含めて企業の希望に合わせて行い、必要であれば課題提出やプレゼンを取り入れることも可能です。履歴書に加えて推薦文を添えることで、候補者の人柄や強みも具体的にイメージしていただくようにしています。また、本採用に至る前に、3~6か月間のお試し雇用の期間を設けるようお願いしています。実際に働いてみることで、お互いの相性を確かめながら進んでいきます。採用後のサポートも大切なポイントです。在留資格変更などの専門的な手続きは、知識を持った顧問行政書士がWELgeeスタッフ、企業とともに対応します。さらに、入社後に出てくる小さな不安や悩みにもキャリアコーディネーターが寄り添い、安心して働き続けられる環境づくりを支えています。インターナショナルズ一人ひとりの状況は異なるため、必要に応じてオーダーメイドのサポートを行っています。こうした伴走の中で、採用を単なる「人材確保」にとどめず、企業とインターナショナルズ双方にとって長期的なWin-Winの関係を築けるよう心がけています。

Q. インターナショナルズに企業を紹介する際、特に意識していることは何ですか？

Maru: 企業の求人案件に対して、どの程度本人のやる気・真剣さがあるかを確認しています。「紹介されたから受ける」「なんでもいいから応募する」というスタンスでは、マッチングが成立することはないし、企業に対して「人材」として自信を持って推薦することはできません。あくまで本人の意思と積極性が重要なので、そこをしっかりと確認するようにしています。

Q. インターナショナルズと信頼関係を築くために、面談で大切にしていることは何ですか？

Chili: まずは、こちらが何者なのかをしっかりと伝えられるようにします。初めましての方も多い中で、この人は一体どんな人でどんなことをしてくれるのかといった期待値の調整などを、信頼を獲得するための大前提として意識しています。

Pako: その人それぞれの等身大の姿を見られるように、お互いにフラットな状況でいられるように、あまり力はいれず、自分もリラックスできるようにしています。純粋にその人自身に関心を持ち、就職に対するスタンスや意識、努力などご本人が意識していること、反対に無意識だが繰り返しているキーワードなどを拾って、自己認識がどれくらい一致しているのかなども併せて確認しています。ご本人はもちろん、パートナーやご家族、子供、居住地、将来的な理想の生き方やイメージ像などもできる範囲で聞き取っています。

Q. 面接練習を行っているとお聞きました。どういう事をしていますか？

Chili: 企業との面接までの期間に、基本は、最低2回行うようにしています。時間が許せば、それ以上行うことも。まずは、ベーシックな自己紹介や自分の強みなど、どの企業でも話す内容を詰めていき、ノンバーバルな表現も大切なので、そのあたりも無理のない範囲でできるようアドバイスを行います。ベーシックなことが対応できる方には、それぞれの企業に合わせたより本番形式に近い形での練習をすることもあります。

Maru: 面接に慣れていないインターナショナルズは話が冗長になりがちで、冒頭の自己紹介だけで5分話し続ける人もいます。質問に対する回答をシンプルにわかりやすくすること、そして実務内容や行動特性、あるいは人柄がわかる回答をエピソードとともにするようにアドバイスしています。また、履歴書や職務経歴書の内容が細かすぎたり、アピールポイントがズレていたりするので、必要に応じて本人にヒアリングして内容を改めて整理しています。

これまで採用いただいた企業の皆さま（一部）



Oisix ra daichi



nakashimaTO



難民人材採用にご興味のある皆さまへ

WELgeeでは、難民人材に特化した採用コーディネーションサービス『WELgee Talents』を通じて、「難民」と呼ばれる人たちが、これまでに培ったスキルと経験、あふれる情熱や志、逆境の中でも道を切り拓き、挑戦を諦めないタフネスを活かして、日本の企業に貢献できる仕掛けをつくっています。

「難民の人たちと交流してみたい」
「どんなスキルや経験をもつ人たちがいるのか詳しく知りたい」
「自社や知り合いの会社のニーズと照らし合わせてみたい」
などご関心がある方は、是非お気軽にお問い合わせください。



<https://welgee-talents.jp/>



2024年も沢山のコラボレーションが生まれました！

難民人材の活躍事例

株式会社アイアンドディー：海外部門拡充にむけてアフガニスタン出身のHさんが入社



株式会社アイアンドディーは、BtoBマーケティング支援やマーケティングツールの開発・販売を行う企業です。採用されたHさんはアフガニスタン出身で、専門は土木工学ですが、将来的にマーケティング分野で活躍したいという希望を持っていました。その思いと企業のニーズが重なり、採用が実現。お試し雇用期間中には海外案件の受注を成功させるなど、高いコミュニケーション力を発揮し、2024年9月に正社員として入社しました。現在は海外事業のコンサルタントとして、海外企業の日本進出を支援する役割を担っています。

インターナショナルズ Hさんの声

2024年6月に株式会社アイアンドディーへ入社し、現在2年目を迎えました。最初の印象はいつも変わらず、平等な成長機会や意欲を尊重する文化、相互学習や責任感、信頼に基づいたチームワークがあります。社内では主に日本語が使われますが、誰もが活躍できる包括的で協働的な雰囲気があり、多様性が尊重されています。アイデアが歓迎され、貢献が評価される環境です。私は常に文化的な違いを理解し、誤解を避けるよう努めています。

キャリアコーディネーター Yukoより

複数の国で働いた経験を持ちながら、常に学び続ける謙虚な姿勢が印象的なHさん。「必ずHさんを必要とする企業がある」と信じて伴走を続けた中で、同社に出会いました。アイアンドディー様は最先端のIT技術を活かしたマーケティングサービスを提供する一方で、従業員や顧客、社会を“Happy”にするという温かい理念を掲げています。そのような企業がHさんの人柄とポテンシャルを評価し、採用につながったことをとても嬉しく思っています。

株式会社中島董商店：ウクライナ出身のIさんが総合職として入社



Iさんは、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて来日。公益財団法人パスウェイズ・ジャパンの支援のもと、大学で経営学や日本語を学びながらアルバイトで生活を支えてきました。2024年8月にWELgeeと出会い、履歴書作成や面接対策を受けながら就職活動を進め、2025年4月から株式会社中島董商店でお試し雇用を開始。複数部署での食品ビジネス経験や明るく丁寧な人柄が評価され、2025年7月1日より総合職として正式入社となりました。今後は幅広い分野の業務を経験しながら、本人の希望や適正に応じて専門性を磨き、将来の会社を担う人材としての成長が期待されています。

インターナショナルズ Iさんの声

就職が決まったとき、本当に嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいでした。インターン期間中には多くのスキルを学び、チームの温かいサポートのもと成長できました。特に、会社の価値観や理念に触れ、高品質な製品とお客様への真摯な姿勢に感銘を受けました。WELgeeは就職セミナーから面接準備、メンターによる指導まで一貫して支えてくれ、Yukoさんの助言は最終面接でも大きな助けとなりました。現在は企画部でパンフレットやプロモーション資料、SNS用のデザインを手がけており、創造的な仕事にやりがいを感じています。温かく専門性の高いチームとともに成長できることに感謝しています。

キャリアコーディネーター Yukoより

中島董商店様とは1年以上前から関係を築き、難民人材の受け入れに真摯に取り組んでくださいました。Iさんの就職は、新卒同様の条件で活動する難民の若者たちへの大きな励みとなります。逆境を乗り越えた彼らの強さや柔軟性は、日本社会に新たな価値をもたらすものです。WELgeeは今後も、難民背景をもつ若者と未来志向の企業の出会いを一つでも多く実現できるよう尽力してまいります。



京都府 ×KPMG コンサルティング株式会社 ×WELgee！「地域DX」に関する協働

2022年度より京都府がKPMGコンサルティング株式会社と進めている地域交通DXに、WELgeeも参画しました。2023年度からは「MaaS×難民人材」をテーマに、公共バスの自動運転化に向けた実証実験を実施。その中で、インターナショナルズが添乗員として活躍しました。地域の方々との交流を通じ、単なる実験にとどまらず、多文化共生の姿を地域社会に届ける取り組みとなりました。

搭乗員に挑戦したインターナショナルズの声

このプロジェクトへの参加が決まったとき、新しい経験に胸が躍りました。準備では日本語アナウンスの練習を重ね、日本で働く文化を肌で感じることができました。当日は地域の皆さまに温かく迎えられ、大きな学びと成長につながる忘れられない経験になりました。

WELgee担当スタッフ 大御悠瑠花より

インターナショナルズとともに自動運転バスの添乗員業務を担当しました。準備段階から役割分担や支援体制を整え、日本語アナウンスの練習も重ねました。当日は地域の方々と積極的に挨拶を交わしながら業務を遂行し、温かい声をいただきました。この取り組みは、インターナショナルズにとって自信や成長につながるだけでなく、地域社会とのつながりを深める貴重な経験となりました。

昭和精工株式会社：エチオピア出身のRさんが正社員として入社



インターナショナルズ Rさんの声

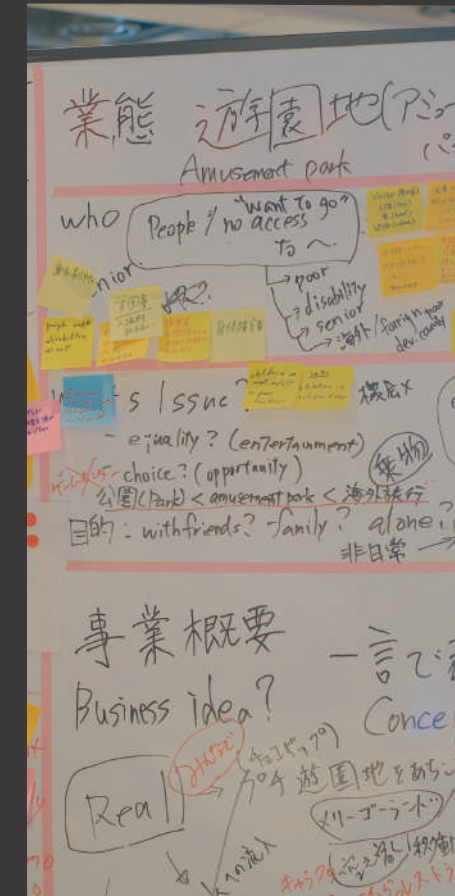
昭和精工様、そしてWELgeeの皆さまのご縁をいただけたことに心より感謝しています。日々の業務一つひとつに意味があり、その積み重ねが人々の力となり、前向きな変化を生み出していることを実感しています。小さな成果の積み重ねが大きな力となり、その都度新たな活力をいただきながら前進することができています。

キャリアコーディネーター Pakoより

Rさんは来日以来、長時間の飲食業務を続けながらも、専門性を活かせる職を諦めませんでした。同社が社内見学会を企画してくださったことで出会いの場生まれ、Rさんは「ここなら自分の経験を活かせる」と確信し、未経験の製造業に挑戦しました。お試し雇用期間中から部署内で高く評価され、明るさや素直さ、飲食業で培った臨機応変な対応力が強みとして活かされています。採用後、企業の方から「国籍に関係なく仲間として迎えたい」とのお言葉をいただき、Rさんの努力が報われたことを心から嬉しく思います。

Rさんは母国で地質学を専攻し、政府機関で地質調査や研究業務に従事してきました。来日後は日本語を学びつつレストラン勤務などで生計を立てながら、自身の専門性を活かせるキャリアを模索。2024年8月、昭和精工株式会社の工場見学に参加した際、経験と業務内容の親和性を感じ応募。2025年3月から6か月間のお試し雇用を経て、前向きな姿勢やチームでの協働力が評価され、2025年9月16日より正社員として成形課に配属。現在はコンピュータ制御機械を用いた金型製作に従事し、新たなキャリアを築いています。

難民の日に、 本気で考える 『ビジネスと人権』



難民の日に、本気で考える『ビジネスと人権』



2024年6月19日「世界難民の日」にあわせて、WELgeeはアクセント株式会社をはじめとする9社の皆さまのご協力と、公益社団法人経済同友会などの後援を受けて、難民当事者と企業人がともに集う「アイデアソン」を開催しました。

今回のテーマは「ビジネスと人権」。

8つの業態を題材に、どうすれば“攻めの人権対応”を実現できるかを考え、新しいサービスや事業のコンセプトを議論しました。当日は「震災時に使える化粧品ボックス」や「誰もが非日常を楽しめるVRプチ遊園地」など、ユニークで実現可能性の高いアイデアがいくつも生まれました。

難民の日に、本気で考える『ビジネスと人権』

実際に生まれたアイデアの一例



「ホテル WELgee」 テーマ：ホテル事業

「ホテルWELgee」は、「人権のためのホテル」「働く・暮らすインターナショナルズ」「多様性のショーケース」をコンセプトとした新しい形のホテルです。インターナショナルズが住み込みで働くことで、就職や住居の課題を解決しながら、多言語対応や多様性理解を強みに海外観光客をおもてなしできる場となります。さらに、宿泊そのものが多様性を学ぶ体験となることを目指しています。このアイデアの背景には、インターナショナルズが直面する就職や住居の困難、そしてインバウンド観光の拡大に伴い生じる文化や言語のギャップといった社会的な課題があります。



「ローラーコースター」 テーマ：遊園地・アミューズメントパーク

小さなスペースに椅子とVR機器を設置し、誰でも安全にローラーコースターのような4D体験を楽しめる仕組みを考えました。この仕組みは難民キャンプや貧困地域にも導入可能であり、現地での雇用機会の創出にもつながります。背景には、障がいや貧困により遊園地を楽しむことができない人々が多く存在するという課題があります。特に難民キャンプや途上国の子どもたちは遊園地を経験したことがなく、すべての子どもに「遊ぶ権利」を届けたいという思いから着想しました。

参加者の声



議論だけではなく、お昼ご飯中の雑談などからも、色んな背景の方の母国や地元の話のなかで自分が知らなかった文化を知れて、とても良い機会でした。アイデアソンの議論の中では、普段自分が自然と持ってしまったバイアスの中で思考をしてしまっていることに気づき、改めて自分の価値観、思考をアップデートできました。



とても刺激的、かつ、インクルーシブなイベントでした。新しい視点をいただき、自分からも今までにない視点が生まれたことが印象的でした。



人権というテーマ性から、真面目な議論をすべきなのではないか？という前提があったが、リラックスしてワクワクをペースに考えることで良いアイデアが出てくることが発見でした。

JACE イベントアワード 2025 にて、学生・NPO 部門 シルバー賞を受賞



国内外の優れたイベントを表彰するJACEイベントアワード2025にて、学生・NPO部門シルバー賞を受賞しました。選考委員の方には「100年後も続いてほしい企画」と評価を受けました。

協賛企業一覧

Event Supporters

accenture

Deloitte.
デロイト トーマツ

PR TIMES

Rakuten Mobile

Media Supporter

Planning Partner

Technical Partner

the japan times

OWLS
CONSULTING GROUP

ワイワイシステム
System

Supporters

公益社団法人
日本フィランソピー協会



KEIZAI DOYUKAI

企業との多様な共創事例

誰もが自分らしく活躍できる未来を創るために、2024年も多くの企業の皆さまとともに歩むことができました。ご協力くださった皆さまに心より感謝申し上げます。WELgeeでは、難民人材の就労機会を広げるため、ともに取り組んでくださる企業を随時募集しています。ぜひHPよりお気軽にお問い合わせください。

新たな共創
に向けた
お問い合わせ
はこちら



難民人材活躍プラットフォーム



心の
豊かさを、
もっと。 JT

GLOBIS

Money Forward

PERSOL

Oisix ra daichi

PwCコンサルティング合同会社

2023年度、WELgeeは公益社団法人経済同友会が掲げる共助資本主義のイニシアティブの一環として、「難民人材活躍プラットフォーム」を立ち上げました。このプラットフォームは、企業が主体となり、参画企業とWELgeeが中心となって、難民の就労のボトルネックをどう解消するかを議論・実践する場です。多様なステークホルダーとの共創を通じて、難民のキャリアや人生の再建につながる就労の機会を増やし、日本社会のさまざまな場所で難民の活躍を広げていくことを目指しています。2024年度は年間を通してラウンドテーブルを3回開催しました。企業同士のつながりも深まり、「なぜ難民人材が今必要なのか」という共通認識を形にできたと感じています。これから多様な立場の方々と手を取り合い、企業と難民がともに価値を生み続ける社会を目指して取り組んでまいります。

難民の日本での生活の変化をヒントに事業を考える



株式会社公文教育研究会様

2025年3月27日、社内勉強会「難民の日本での生活の変化をヒントに事業を考える」を実施しました。当日は実際に難民人材が登壇し、直接声を届けました。約40名の社員の方々にご参加いただき、さまざまな視点から活発な議論が交わされました。

役職
名前 ニックネーム
他メンバーがつけた
キャッチコピー

\\ 個性派揃い! //

WELgeeメンバー紹介



代表理事

安齋 耀太 Andy

思い描く未来と、今ここにある
私たちとのあいだで。



職員 / 育成事業部ディレクター

成田 茉央 Jasmine

子ども好きの愛情を、人を育て
る力に。人材育成のプロ!



職員 / ディレクター

加藤 冬華 Marilyn

信頼と愛嬌で周りを巻き込む!
情熱系マネージャー



就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

坂下 裕基 Chili

常識を超えるフィジカルとマイ
ンド! 唯一無二の存在感



就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

寺阪 ゆう子 Yuko

風を求めて東へ西へ! 強く優し
いWELgeeの頼れるアネキ



就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

圓山 佐登子 Maru

住む場所も働き方も自分らしく選
ぶ。生き方"まる"ごと多文化共生



就労伴走事業部
キャリアコーディネーター

金城 遥 Pako

キャリアも家もDIY! キャリアを
紡ぐ人材に伴走する紫炎



理事

桐ヶ谷 昌康 Texas

脱とおろすがり! 創業以来の
伴走者が理事に



理事

白石 章二

雲南からWELgeeを支える、
いつまでも若いお父さん



デザイナー

高野 菜々子 Choi Choi

場も人も動かす、みんなに愛され
るデザインの魔術師



育成事業部プロジェクト
コーディネーター

大御 悠瑠花



事務局サポート

奥江 英樹



顧問税理士

長田 和弘



監事

東樹 敏明



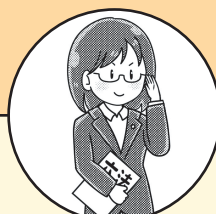
監事

井上 智映子



顧問行政書士

長岡 由剛



リーガルアドバイザー

荒谷 淑恵



プロボノ募集!

社会人として培ったスキルや経験を活かし、ボランティア
としてWELgeeで活躍しませんか?

様々な職務経験を積み重ねてきたからこそこの視点やスキ
ルが、インターナショナルズへの伴走、事業強化や組織
開発の力になります。WELgeeで多国籍な難民、多様な
メンバー、外部のステークホルダーと向きあい、ご自身の
視野を広げませんか?



\\ 新時代を支えていく NEWメンバー 紹介 //

一人ひとりと丁寧に。まっすぐ、あたたかく、未来へ伴走。



リソース部門 スタッフ

垣内 咲乃 しゃっきー

以前は出入国在留管理局で働いており、その頃からWELgeeの活動を知っていました。北海道で創業メ
ンバーのご夫婦と出会ったご縁をきっかけに参加しました。「安心」「居場所」「伴走者」を大切にしながら、
チームを縁の下から支え、つながりを育んでいきたいと思っています。よろしくお願いします!

#犬好き
#宿命鑑定師
#直感型

シリア出身の笑顔を周りに振りまく2児の父!



育成事業部 プロジェクトコーディネーター

山田 禅 Zen

コーディネーターとして、日本で暮らす「難民」ルーツのある方々が自分らしく生きられるよう、日々寄り添っ
てサポートしています。安心して生活し、夢に向かって進めるように、WELgeeの仲間と一緒に全力で取り組
んでいます。皆さまの応援に心から感謝しつつ、これからもよろしくお願いします!

#シリア出身
#元建築エンジニア
#元サッカー選手

海外経験×どんな人にも寄り添える=誰よりも頼れる安心存在!



育成事業部 プロジェクトコーディネーター

小田原 誠 Mat

オーストラリア・シドニーで大学院を修了後、現地のホームレス支援シェルターで働いていました。その経験
から「困難を抱える人の力になりたい」と考えていたとき、WELgeeに出会いました。これからは、日本に暮
らす難民の方々が就労を通して自立した生活を築けるよう伴走していきます。全国にいるインターナシヨナ
ルズに届けられるよう、育成事業部の一員として力を尽くします!

#シドニー留学
#バックパッカー
#フルマラソン

笑いのツボが浅すぎるアイデアマン!!!



法人連携部

柏倉 拡美 かっしー

フランスでブランド事業や戦略の仕事に携わり、多様な文化の中で協働してきました。帰国後、名古屋入
管での事件を知り、外国籍の方々を取り巻く現実強い衝撃を受けました。その中でWELgeeの活動を
知り、理念に共感して参加を決めました。これからは、難民の方々が未来に希望を描けるよう、日本社会が
互いを尊重し合える社会になるよう、力を尽くします!

#多文化共生
#フランス
#旅

営利企業からNPOへ。1年間の “潜入”で見たWELgeeの素顔

留職とは?
社会課題に取り組む国内外のNGO/スタートアップ
に1年にわたって飛び込み、本業のスキルと経験を活
かして社会課題の解決に挑むプログラムです。



高橋 明(あっきー)

WELgeeに留職として関わる前は、難民分野についても知識がなく、「意識の高い人が集まる
組織」という少し堅い印象を持っていました。けれど、Webページから伝わる温かさに惹かれて
参加を決めたことを覚えています。実際に関わってみて驚いたのは、妥協せず意見を交わし合う
真剣さでした。世界難民の日のイベントで多くのボランティアが自然と集まる様子を見たとき、
「ここまで他者のために動ける人がいるのか」と感動しました。難民人材を軸に据え、フラットに
意見が飛び交う文化こそがWELgeeの強さだと感じています。この1年間で、自分で考え動く環境
に身を置いたことで少しタフになれましたし、社会課題に人生をかける人たちを間近で見られた
ことは大きな財産です。これからは子育てとの両立を意識しながらも、未来のために小さな一歩
を重ねていきたいです。仕事では留職事務局として、挑戦する人を増やしていきたいです。

人材紹介会社にて、プロボノとして外国人留学生の就職支援を経験。祖国を離れて、異国の地で、健気に、そして真摯に、頑張
る外国人留学生の姿に感銘を受ける。「社会課題を解決したい」「頑張っている人を応援したい」「異文化理解を深めたい」と
いう思いから、社内のソーシャルセクターを対象とした越境研修プログラムに応募。縁があり、WELgeeにて1年間、WELgee
Talentsのマーケティングを担当。現在は会社に戻り、WELgeeでの一年の経験を活かし、留職の送り出し担当として活躍中。

新代表ってどんな人？

慎重かつ大胆

意外と涙もろい
優しい人

逆境を楽しむ人

論理型思考を
連れて歩く
優しいお兄さん

チームを大切に
しつつ、方向性を示す
頼れるリーダー

はじめまして、新代表の安齋耀太です。難しいことを面白いがる性分——それが、WELgee“第二章”の舵を取ろうと決めた理由です。幼い頃は『鬼太郎』に夢中、難読漢字を集める“漢字博士”。中学で英文法にどっぷり、研究では“アジール(避難所)”の概念からドイツの庇護権へ——好奇心の矢印に従って歩いてきました。2017年、WELgeeのイベントに参加して日本の難民のリアルに出会い、気づけばど真ん中へ。ある日、前代表がひとりで領収書を並べて作業しているを見て『それ、僕がやります!』と口走った瞬間から、法人化やバックオフィス整備まで一気に加速。外の会社で“仕組みで強くなる”を学び直し、家族の後押しもあって、今、もう一度ハンドルを握ります。

守り続けるのはWELgeeの“WITHの精神”。

一つは、難民の方々を“支援の対象”ではなく社会と一緒に作る仲間として捉えること。もう一つは、官・民・教育機関など多様なステークホルダーと並走し、価値を共創すること。この二つは変えません。軸も同じ「難民×キャリア」。仕事は生活の糧にとどまらず、人生を再び前に進める力です。母国で培った専門性が日本で再び輝けば、本人にも企業にも社会にもプラスになる——この確信は揺るぎません。

これからは、面白がりながら、確実に前へ。

事例を“点”ではなく“面”に広げるため、目標→計画→実行→検証→修正のビジネスプロセスを徹底します。同時に、走り続けられるようにチームのハッピー&ヘルシーを最優先に。企業や自治体、教育機関とさらに連携を深め、日本社会で存在感を増す“難民×キャリア”のエコシステムを育てます。変化が大きい今はチャンスです。ともに、未来を描きましょう。

WELgeeに関わってくれた 全ての方に、感謝を込めて。



これまでの応援に心から感謝します。大学院生として上京した私が出会ったのは、紛争や迫害で故郷を離れ、それでも日本で希望を捨てずに立ち上がろうとする人たちでした。ただ、そこには、法的・経済的・社会的な壁が幾重にもありました。一方で、社会が現状を知らないがゆえの“取り除ける壁”もあり、彼らと日本社会の間に橋を架けたいという原点から活動が始まりました。この1年は、ここからのステージをどう描くか議論を重ね、自分自身の選択肢としても「次へ託す」という可能性とも向き合いました。ゼロイチとは異なる、既存の組織を持続的・発展的にマネジメントしていくフェーズには、別のリーダーシップもありなんじゃないかと考えるようになりました。そんな代表と、頼もしいメンバーがいる今、前向きにバトンを渡す決断ができたと振り返っています。WELgeeのみんなへ。ミッションや応援してくれる人たちを大切にしつつも、まずは自分自身を大切に生きてね。自分の中から湧き上がるエネルギーでしか前に進めないし、それが自分らしさの源泉だから。今後のWELgeeもよろしくお願いいたします。

渡部カンコロンゴ 清花



これまでWELgeeと一緒に形づくってきた皆さまに心から感謝申し上げます。わたしは大学生のときに初めて「難民」と呼ばれる若者たちの豊かな個性や経験、あふれる志に触れました。そして同時期に日本の過疎地域で産業振興とまちづくりに従事したことをキッカケに、難民の人たちと日本の人たちがともに働き、価値創造をしていく就労伴走事業を立ち上げるところから、WELgeeに参画しました。この9年間、試行錯誤の連続で、たくさんの危機もありましたが、背景も関心も関わり方も非常に多様な皆さまとのあたたかいつながりと応援があって、ここまですることができました。そんなWELgeeだからこそ果たせる役割を、世の中のためにさらに広げてほしい、という強い願いを出発点に、組織の方向性や体制、それぞれのWELgeeとの関わり方を見つめ直し、議論を重ねてきました。WELgee第一章はわたしにとって人生の宝物です。この経験を糧に、また新たな挑戦をしていきます。新生WELgeeと皆さま、卒業するわたしたちも、形は変われど、これからの旅路の中で、学び合い励まし合いながら、カラフルでやさしい世界をともにつくっていきましょう、引き続き何卒よろしくお願いいたします。

山本 菜奈



これまでWELgeeを支え、応援してくださった全ての皆さまに心より感謝申し上げます。2020年4月に職員として参画し、その後、組織経営にも携わってきましたが、自分たち自身、非常に手探りで、その時々で社会情勢の変化やニーズに真摯に向き合い応えながら、インターナショナルズが日本社会で活躍する事例を一つ一つ積み上げてきた、そんな5年間だったと振り返ります。これからのWELgeeを考えた時に、事例の積み上げの一步先へ、社会的インパクトの拡大を目指していきたい。それは経営メンバー全員で一致した願いでもありました。私自身、WELgeeを通じて出会ったインターナショナルズの存在・言葉・姿勢に励まされた場面は数知れないですが、常に難民の方々や企業の方々の声に耳を傾け、伴走する姿勢を持っている現場があることが何よりもWELgeeの強みだと思っています。社会を構成する一人ひとりと「ともに」対話しながら、多様性を味方に新たな価値創造をし続けられるよう、これからの新体制WELgeeも温かく見守っていただけると嬉しいです。

渡辺 早希

2024年度 会計報告

単位：円

		23 年度	24 年度
経常収益	受取会費	9,151,916	12,806,900
	受取寄附金	21,035,546	15,626,341
	受取助成金等	147,900	800,000
	事業収益	20,846,050	14,903,994
	その他収益	2,033,752	5,506,688
経常収益合計		53,215,164	49,643,923
経常費用	事業費	23,410,781	24,996,881
	人件費	12,313,763	13,193,236
	その他経費計	35,724,544	38,190,117
	管理費	4,961,442	5,176,759
	その他経費計	7,778,639	11,398,137
経常収益合計		48,464,625	54,765,013
当期経常増減額		4,750,539	▲5,121,090
経常外収益計		0	0
経常外費用計		1,666,487	0
税引前当期経常増減額		3,084,052	▲5,121,090
法人税、住民税及び事業税		70,000	70,000
当期正味財産増減額		3,014,052	▲5,191,090
前期繰越正味財産額		46,523,017	49,537,069
次期繰越正味財産額		49,537,069	44,345,979

認定 NPO 法人パブリックマインド「Public Mind 基金第 1 号」に採択いただきました。

難民人材採用決定時のマッチングフィーならびに講演謝礼等を含みます。

第 5 回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞 経済の部ならびに第 27 回 CSO フォーラム 2024 準グランプリの受賞賞金です。

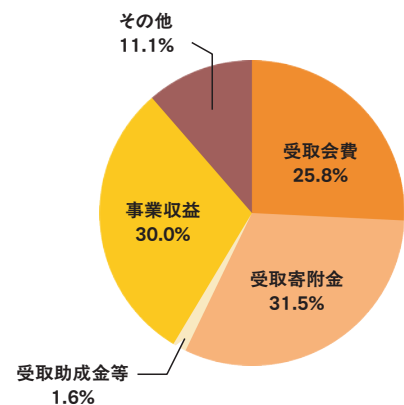
業務委託費・旅費交通費などを含みます。詳しくは WEB サイトよりご覧ください。

業務委託費・旅費交通費などを含みます。詳しくは WEB サイトよりご覧ください。

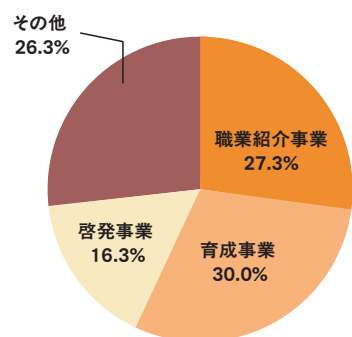
受賞

- ・第 5 回 SDGs ジャパンスカラシップ岩佐賞 経済の部
- ・第 27 回 CSO フォーラム 2024 準グランプリ

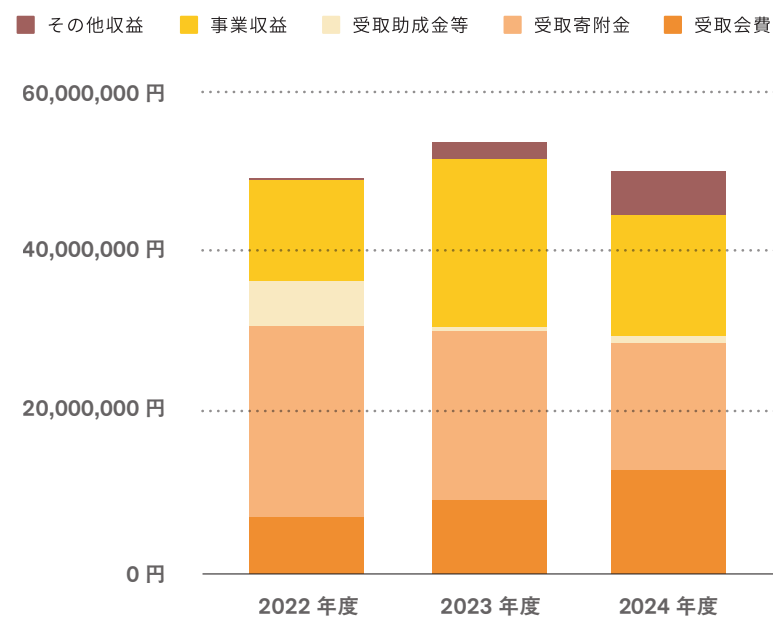
収入の部:収入 4,964万円



支出の部:支出 5,476万円



経常収益内訳 3期比較



会計報告の詳細は WEB サイトよりご覧いただけます。
右の QR コードからご確認ください。



計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監事 東樹 敏明 (株式会社グロービス)
監事 井上 智映子 (株式会社グロービス・グロービス経営大学院教員)

2024年度もたくさんの方に支えていただきました

2024年は、23法人・822人からの継続寄付、21法人・個人102件からの単発寄付・協賛を賜りました。皆さまからの継続したご支援により、一人ひとりのインテリナショナルズに育成機会や就労機会を提供することができました。心より感謝申し上げます。本ページでは、一部にはなりますが、2024年度にご寄付やご支援を賜った個人・団体をご紹介します。

法人寄付

三菱マテリアル



Daiwa House
大和ハウスグループ

人に地域に未来に“やさしい”
西武信用金庫

紀尾井町ロータリークラブ、株式会社アリトラベル、Yokohama Christ Church、一般財団法人世界聖典普及協会、株式会社GEAR、ANZEN・PAX株式会社、行政書士明るい総合法律事務所、株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント、合同会社UPY 等

世界難民の日アイデアソンにて楽天モバイル株式会社、アクセンチュア株式会社、デロイト・トーマツベンチャーサポート株式会社、株式会社 PR TIMESの4社に協賛いただきました。また、難民人材活躍プラットフォームの取り組みの一環として、日本たばこ産業株式会社、パーソルホールディングス株式会社等にご寄付をいただきました。

法人として「寄付」で応援しませんか？

詳細はこちら



WELgeeでは、難民が日本社会でキャリアを築き、自立していけるよう伴走しています。法人としてのご寄付は、次世代の人材育成や多様性ある社会づくりに直結するインパクトをもたらします。ぜひ「ともに歩むパートナー」として、法人でのご支援をご検討ください。

WELgeeファミリー

23 社 822 名

2024年度は23法人・822名のWELgeeファミリーの方々に支えていただきました。
ご寄付とともに温かいメッセージをいただいております、WELgeeの活力となっています。

WELgee ファミリーの皆さまからのメッセージ

- 最近、在日外国人の犯罪が多い、というニュースを見ることがあり、在日外国人に対して正直ネガティブな気持ちがあったのですが、ラジオの中で難民の状況を聞き、日本のイケてない状況がそうさせていることも多いのかもしれない、そこが変わると誰もが幸せで輝ける状態になるのかもしれない、と思い、自分にできることを少しでもやってみようと思ってきました。
- とても納得できる支援をしておられて、尊敬しています。日本を頼って来た人たちに、日本を良い国だと思ってもらい、自己実現に向かって生活してもらいながら、いっしょに平和のために協力できる仲間になってもらいたいと思いました。

WELgeeファミリーになって

「難民の若者たちの未来」を支えませんか？

1日30円～
Join US!

紛争・差別・迫害などから逃れ日本にやってくる「難民」と呼ばれる人たちがいます。希望をかけて逃れてきた先の日本でも追い込まれ「自分は役に立たない人間だ」と可能性を閉ざしている人たちがいるのが現状です。そんな若者たちの直面する壁を崩し、未来に投資するマンスリーサポーターになりませんか？

